光楽園老人ホーム

夫婦専用棟が完成

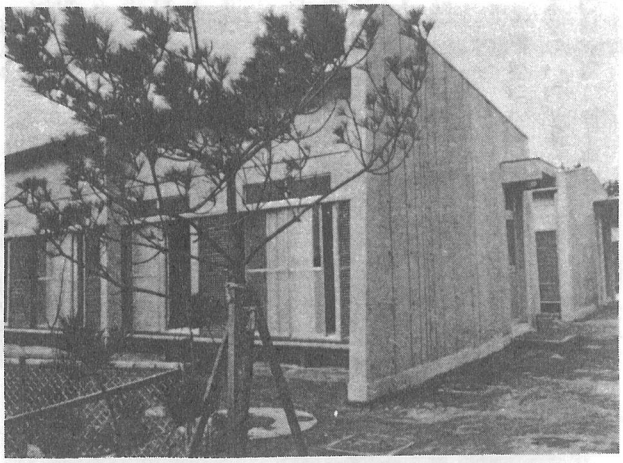
総工費は一千四百万円

白磯の光楽園養護老人ホーム（千原理事長）では、県内で始めて、全国でも珍しい夫婦老人専用棟が完成しました。

この専用棟は、日本小型自動車振興会から六百三十二万円の補助金、千葉県より百万円の補助金、地元の有志からは、百二十四万五千円の寄附がありました。

足りない五百四十三万五千円は、千原理事長が出されました。

総工費千四百万円で、各方面から注目を浴びています。



暖房完備の立派な専用棟が完成しました

暖房完備の立派な施設

完成した夫婦老人専用棟は、三棟で一棟四部屋に区分され、計十二組が入所できます。

建て物は、鉄筋コンクリートブロック平屋建て延べ二百三十平方メートル（七十坪余）で、ちょうど英字のE字型になっています。

各建て物は、松竹梅となっており、一室四・五帖で、それも普通の四・五帖より六センチほど広いつくりになっています。

二人で過ごすには快適で、各部屋には暖房が入っており、老人天国を思わせるほど立派な施設であります。

便所、洗面所は共同ですが、水洗便所ですべてが衛生的で不備のない設備です。

洗面所ほ、ガス湯わかし器が取り付けられています。

各部屋は、三段の押し入れと下駄箱が設けられています。

特に変っているのはカベで、松の棟がモスグリーン、竹の棟が薄水色、梅の棟が淡黄色といった配色になっています。

入所申し込みを受付中

現在同ホームで生活をしている老人は、男三十四名、女四十九名で計八十三名です。

夫婦専用棟の完成で、今後百十名の老人達が余生を楽しく過ごすことができます。

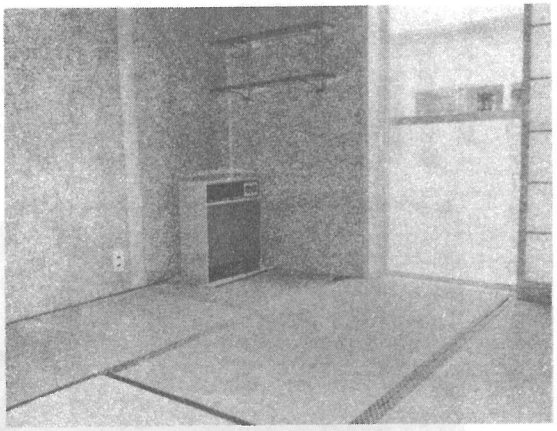
只今入所申し込みを受け付けており、四組の入所希望者がでています。

同老人ホーム内にも、老人同志がお互いにいたわり合いながら頼り合って、余生を幸せに送りたいと言う、ほほえましい話題もあります。

去る二月十日に、一組が結婚して毎日を楽しく過ごしています。

理事長の頌徳碑を建てる

一方千原理事長の、これまでの苦労や行為に対し老人達はたいへん感謝しています。



二年前に入所した老人達が組織している相愛会では、理事長の頌徳碑を建てようと、一人一ケ月三十円の貯金を始めました。

すでに五万円を越えるお金がたまっており、あと二年で達成することになっています。

畠山ていさん81、田口直平さん80、斉藤芳一さん76、椿こうさん66らは早く千原理事長の頌徳碑を建てたいとがんばっています。

光楽園養護老人ホーム

理事長　千原　興楽

ようやく夫婦専用棟が完成しました。

これまでは、主として単身老人が対象として考えられ、とかく夫婦老人については疎外されがちでありました。

施設を運営する者として、真剣に取り組まなければならない問題でありましたので、思い切り計画に基いて衛生面と生活に不備のない夫婦棟を建てました。

国は、かけ声ばかりでなく老人福祉向上に対する、対策にもっと力を入れるべきだと思います。

老人達が私の碑を建ててくれる話しを知り本当にうれしい。

地元の有志　寄附者芳名

十五万円	越川　元
五〃	藤代　博
十万円	丸小屋
五万円	伊藤富士男
五〃	鈴木　敏雄
五〃	石川　実
二万円	山田　忠雄
三〃	岩沢　英一
五万円	佐藤ストア
二万円	東邦管工
二〃	山平金物店
三〃	なかや
二〃	山平陶器店
五万円	山下　政一
一〃	京葉電機
一〃	向後時計店
一万五千円	城北工業
二万円	須合本店
三〃	大木　正純
二〃	伊藤　広次
二〃	小倉　喜一
三十万円	川野　稔
五万円	畔蒜　義衛
三万円	千葉　銀行
	椎名　彰

合計百二十四万五千円